

# 三木まんで願。

住民総出の  
大イベント



ほくろく(きょうくち)



きつね(きょうくち)

『獅子たちの里 三木まんで願。』といばなんといっても獅子舞。現在三木町には50を超える獅子連と3つの大獅子保存会があり、大獅子は女大獅子を含めて4頭が存在します。

毎年10月の第4週土曜日の1日だけ、三木町内で活動している各地区の獅子連と三木町が誇る日本最大級の大獅子を有する大獅子保存会が一堂に会し、ショッピングセンターベルシティ駐車場及び文化交流プラザ一帯の会場にて、勇壮な舞を披露します。

獅子連ごとに異なる個性豊かな舞や大獅子のダイナミックな舞は圧巻で、観る人を興奮の渦へ誘います。

その他、獅子舞以外にもたくさんの魅力が盛り込まれています。多くの人に参加し一緒に踊ることができる伝統芸能の一つである三木音頭、三木町の特産品や農産物を集め三木町の企業・ブランドを発信する豊年満作・三木ブランドゾーン、高校生や大学生が企画し運営するスクールゾーンなど、年齢や職業に関係なく小さなこどもからお年寄りまでみんなが参加し楽しめます。

住民が主体となって創り上げる『獅子たちの里 三木まんで願。』は三木町を活性化し、発信する地域ブランドの一つです。

## 第6章

# FESTIVAL

## 三木町最大のイベント

### 『獅子たちの里 三木まんで願。』

秋になると三木町内のいたる所から太鼓と鉦の音が聞こえてきます。三木町は『獅子たちの里』といわれるほど獅子舞が盛んに行われており、そんな中で三木町全域から獅子たちが集結する一大イベントが『獅子たちの里 三木まんで願。』です。

『まんでがん』というのは讃岐弁で『全部』という意味です。三木町の魅力【歴史・文化・自然・食材・ものづくり・人】をまんでがん集めて、三木町を元気にしたいという住民の『願い』を込めて平成24年10月に生まれた住民参加型のイベントです。

住民によって組織する実行委員会が中心となって、演出やイベントを創り上げ、みんなで参加し、楽しむということがこのお祭りの特徴です。

年々来場者も増えており、第7回を迎えた平成30年度には町内外から約6万人もの人が来場し大盛況でした。

